

さあ、僕らのWAKU-DOKI WORLD学童保育所へ!



Korezak

コルチャック



発行：港区学童保育連絡協議会

《事務局》港区・中川学童保育所

TEL&FAX 651-5196

E-mail n_g@na.commufa.jp

<http://lovekids-dream.com>

学童保育を充実させてください! その想い(意見)を名古屋市へ

—名古屋市へパブリックコメント(パブコメ)を送ろう—




先号では、H26年度へ向けての、名古屋市の放課後施策の動向についてお伝えしましたが、こうしたことに対して、今、名古屋市は市民へ様々な分野でのパブリックコメントを求めています。

そこで学童保育に携わっている私たちとしては、学童保育とトワイライトの内部評価について、意見を出していきたいと思います。この内部評価では、学童保育の貢献度はトワより低いうえ、将来の財政負担も“ほぼ横ばい”と、私たちの切実な願いである学童保育制度拡充の意志を読み取ることができません(その他の評価については裏面をご参照下さい)。そこで、トワとは異なる個別の役割があり、みんなが必要とし大切にしている学童保育を「充実させて下さい!」という声をあげていきましょう。



港区連協からの正式要請としては大変急なご案内になりますが、よろしくお願ひします。添付用紙に皆さんの想いを記入し、至急、名古屋市へ送って下さい。

 **具体的な記入方法(テクニック)は裏面をご参照下さい。**
締め切りは10月11日(火)です。

9月区連協幹事会報告—

今年度は、月一回の幹事会が参加する幹事さん(各学童の区連協担当)にとって充実した時間となるよう工夫して運営しています。その一環として、この場がより各学童交流の場となるよう、そのために参加幹事さん一人一人が身近な存在になることができるよう、9月幹事会は区連協会長提案の『偏愛マップ』という手法で交流しました。

『偏愛マップ』…なにやら??ですが(^◇^)、参加した幹事さんには好評でした。月一回の幹事会、各学童担当者はいらっしやいますが、出席は限定されるものではありません。興味のある方は、お気軽

第31回港区子どもまつり

とき：10月16日(日)

ところ：戸田川緑地

*学童っ子たちはステージ出演します。

*お父さんお母さんは、

・全体進行サポート

・遊びコーナーの設置

・模擬店出店(学童単位、任意)

を行います。もちろん、秋の一日、お子さんと楽しんじゃいましょう(#^.^#)!

★協賛金の取り組み、466,000円の集約となりました。ご協力、ありがとうございました。

10月区連協幹事会は拡大幹事会(代表者会議)

とき：10月12日(水) 19:30~21:00

ところ：当知学童保育所

11月18日(金)開催の区交渉へ向けて、本年度の要求項目を検討&確認します。父母会会長の皆さん、ご参加よろしくお願ひいたします。

さあ、それでは裏面をチェックし、
パブコメを名古屋市へ!

至急のご案内!

10月11日(火)まで まだ間に合います

市の内部評価「施策貢献度」

トワイライトはAで、学童はBってどうして？

パブコメで意見をだしてみよう！

コツは あふれる想いは胸にしまって、

2～3行程度で、結論をはっきりと簡潔に文字で表現しよう！

留守家庭児童健全育成事業助成（学童保育）に対する、
名古屋市の評価はB「貢献あり」ですが、
一方のトワイライトはA「極めて大きい」とするなかで、
総務局（名古屋市の蓮舫？）は
「トワイライトスクール、留守家庭児童健全育成事業との関係を早急に整理すべき」と意見をだしています。

これには怒りすらわいてきます。こんな名古屋市に対して住民が「物申す」制度が、

パブリックコメント（パブコメ）です。

わが子が1年生になったとき

トワイライトになじめないと感じたとき

学童保育所が、わたしたち働く親をきっちりサポートしてくれることは

「大きな安心」です。

日々の保育や行事の度に成長していくわが子のことが、走馬灯のようによみがえり……。
ですが・・・このパブコメには、そうした想いを長文でズラッと書いてしまうと、
市が集約時点で、意見をまとめるにあたり、
意味をとりちがえられたり、極端な例では全く逆の意見と判断される場合もあります。

「学童の助成金をふやしてください」

「指導員さんの経験を助成金に反映させてください」など、一言でもOK。

こうした意見が1000件集まれば、けっこう説得力がでてきます。

さあ、勇気をだして、パブコメに挑戦してみよう！！

《参考》名古屋市の事業に対する内部評価は市ホームページもしくはコチラから

http://lovekids-dream.com/childcare_situation.html



区連協ニュースの定期発行

このことも本年度の港区連協の活動テーマの一つです。
区連協総会では、そのために区連協幹事で掲載記事を分担することの
提案がありました。

本紙面は、中川学童・区連協幹事 三倉さんが作成して下さいました。